

④新規用途開発による地域農産物の需要拡大、ブランド向上

## エディブルフラワーの栽培、加工及び販売事業を通じた岩見沢地域活性化プロジェクト

エディブルフラワーを有機無農薬で栽培し、生花で出荷するほか、ドライ加工技術を確立し、通年出荷・流通、販路開拓を通じて地域の活性化を目指す。

### ➤ 連携体

農林漁業者

西村 公一(農業)

エディブルフラワーの栽培と安定供給、通年での出荷体制の確立。

中小企業者

(株)JAKE(法人番号 1430001068604)(農業サービス業)

エディブルフラワーの加工技術の開発、販売・販路開拓。

連携参加者

(一社)岩見沢市観光協会(法人番号 1430005011576)

地域企業等に対する消費拡大の促進。

サポート機関等

(独)中小企業基盤整備機構北海道本部(法人番号 2010405004147)

### ➤ 連携の経緯

(株)JAKEでは、農薬散布事業を主体に、無農薬農産物生産システムを導入したトマト栽培のほか、西村農園で栽培した花卉の販売を行っている。今後の経営に関しては、IT導入や省力化とあわせて、競争力のある作物の栽培・販売を推進し、労働生産性を高めることが課題であった。このような中、花卉栽培のノウハウを持つ西村農園のメリットを活かすことができるエディブルフラワーに着目し、中小機構北海道本部を訪問したことが契機となり、市役所、観光協会等とも検討を進め、農商工連携を活用した事業計画を策定するに至った。

エディブルフラワーとは、  
Edible(食べられる)  
Flower(花)の文字通り、食用花のことです。

料理を彩るだけでなく、野菜と同じように料理に使用されます。  
栄養価も高く、ヘルシーな食べ物として人気が高まっています。

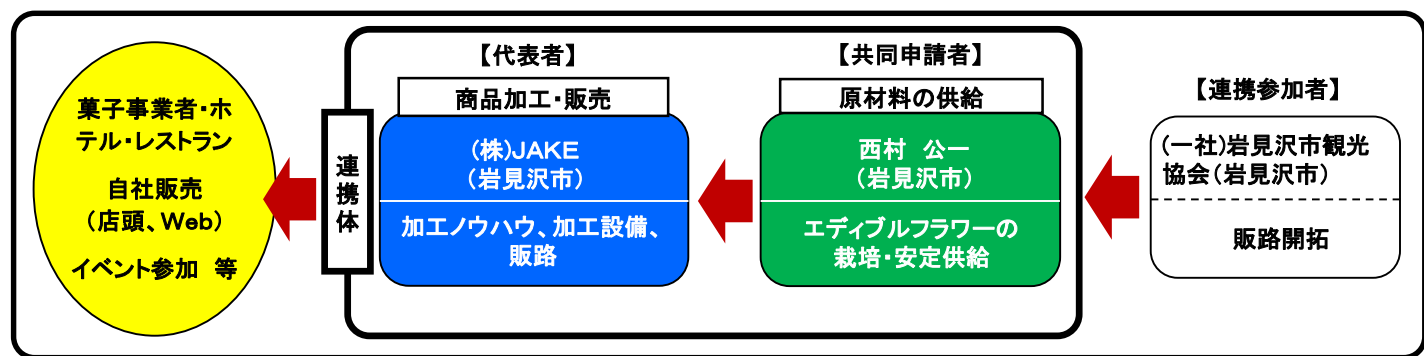
### ➤ 連携に当たっての課題や工夫等

エディブルフラワーを生花として通年出荷を実現するためのノウハウと、食用のための殺菌技術の確立を図るとともに、流通に有利となるドライタイプの加工を行うための施設整備を進める。ドライタイプは競争力の高い商品となるため、花の品種・出荷時期に適した最適条件を導き出すためのノウハウ・技術の確立を目指す。

岩見沢市観光協会と連携し、地域の観光・ホテル・菓子業界等への活用を通じて認知度向上を図り、道内外へのプロモーション展開を行う。



エディブルフラワー  
[ピオラ(左)、金魚草(右)]



### ➤ 連携による効果

農林漁業者

5年で約130万円の売上高増加。

安定した販売先確保、農業経営の安定。

中小企業者

5年で約150万円の売上高増加。

エディブルフラワーの市場形成と新たな販路の拡大と売上の増加。

### ➤ 代表企業等の連絡先

企業等名 : 株式会社JAKE  
TEL : 0126-26-3340  
E-mail : a.c@jake-i.com

所在地 : 北海道岩見沢市下志文町24番地11  
FAX : 0126-26-3340  
ホームページ : <http://jake-i.com/index.html>